

自治連わこう



問合せ：和光市自治会連合会事務局（和光市総合福祉会館内） 048(463)0104
自治連へのご意見ご要望は⇒ wako.jichiren@opencity.jp

市合同防災訓練 第三小学校

自分の命を守るシェイクアウト訓練



平成26年6月1日、市・自治連合同防災訓練が第三小学校にて行われました。

今回初めて地震発生時に自分の命を守る「シェイクアウト訓練」を全員参加で行い、またツイッターでの被害報告訓練を行いました。地震体験訓練では埼玉県南西消防本部の起震車を初めて利用させていただき、好評でした。

和光市消防署・消防団、埼玉病院DMAT合同演習は見ごたえがありました。

中学生ボランティアも多く参加協力してくれて、有意義な訓練となりました。

平成26年度 和光市地域防災訓練 参加者

内 訳	人 数 等
参加自治会	25 自治会
自治会参加者	1,021 人
自治会連合会関係者	19 人
一般参加者	167 人
市職員	38 人
中学生ボランティア	58 人
関係機関 等	196 人
合 計	1,499 人

※自治会参加者は、第三小学校への避難訓練などには参加せず、地域での一時避難訓練のみ参加した方も含む

※また、一部避難訓練では、要援護者の安否確認、負傷者の状況確認、住居や道理、がけ崩れ、火災などの被害確認、電気・ガス・水道・電話などのライフラインの被害確認が行われた。

26年度 自治会連合会定期総会

和光市自治会連合会の定期総会が、平成26年5月24日(土)に、松本市長、菅原市議会議長他9名の来賓を迎え、100自治会(内委任状36自治会)の出席のもと、白子コミュニティセンターにおいて開催され、会長あいさつの後、来賓各位からご祝辞をいただき、議長選出後、直ちに議案の審議に入りました。

議案は、平成25年度事業報告、決算報告、規約の一部改正、平成26年度事業目標、事業計画(案)予算(案)が提案され、原案通り承認されたところであります。続いて永年(10年)功績のありました自治会長に感謝状の贈呈が行われ、全ての予定が終了致しました。



感謝状贈呈者 伊藤芳夫(浅久保町会)

平成26年度事業計画(案)

- 4月20日 防犯パトロール
- 5月9日 第1回理事会
- 24日 定期総会
- 6月1日 防災訓練(第三小学校)
- 15日 クリーン・オブ和光(第1回目)
- 27日 第2回理事会
- 7月22~25、29日 前期地区懇談会(5地区)
- 8月19日 第3回理事会
- 9月 市との協働研修事業
- 10月13日 市民体育祭
- 10月27~28日 視察研修会
- 第4回理事会
- 11月9日 市民まつり
- 16日 クリーン・オブ和光(第2回目)
- 23日 ゆめあいまつり
- 12月 防犯パトロール
- 2月 新年顔合わせ会
- 後期地区懇談会(5地区)
- 3月15日 クリーン・オブ和光(第3回目)
- 第5回理事会

平成26年度 予算 (26.4.1~27.3.31)

収入の部 (単位円)

項目	予算額	前年度決算額
会費	900,000	877,800
市補助金	4,230,750	4,730,750
社協補助金	100,000	100,000
50周年記念諸収入	0	1,065,000
雑収入	50,000	46,000
利息	500	425
繰越金	808,341	759,245
合計	6,089,591	7,579,220

支出の部

会議費	430,000	324,334
事務費	280,000	405,657
交際費	170,000	99,240
事業費	4,780,750	5,941,648
予備費	228,841	0
合計	6,089,591	6,770,879

○退職理事

前年度をもって退職された理事をご紹介します。
どうもありがとうございました。

白子南地区 手銭 隆(二軒新田)

白子北地区 平山 裕三(DIKマンション和光)

○平成26年度新理事

白子南地区 野口 章(双葉会)

白子北地区 益子 憲一(DIKマンション和光)

クリーンオブ和光

- ・実施日 平成26年6月15日(日)
- ・参加自治会 85自治会
- ・参加者 6,121人
- ・回収ごみ量

可燃ごみ	8,150kg
粗大ごみ	4,330kg
合計	12,480kg



地区懇談会での意見・要望に対するQ&A

(平成25年度後期地区懇談会)

◆市民生活について

①道路に積もった雪への対応について

新倉小学校、古民家近くの市道では建設業者が除雪対応していた。市内全域における除雪対応についてどのようなになっているのか。

また、県道脇歩道のように除雪対応していない箇所もあり、市道と県道、歩道と車道、通学路の除雪の対応はどのようなになっているのか。それぞれの対応はどこに依頼すればよいのか。

【回答】道路安全課

通学路や北斜面等の坂道を中心とした市道の除雪等は、和光市商工会と締結しました「災害時における災害復旧工事に関する協定書」に基づき道路安全課より、和光市商工会建設協力会に除雪を依頼し対応しています。

県・国道につきましては、埼玉県朝霞県土整備事務所にて行っていますので、県・国道についての依頼は、朝霞県土整備事務所をお願いします。

②高齢者向け住宅の地域参加について

高齢者向け住宅を運営する法人の運営会議に地域自治会として出席しているが、法人からは一方的な要望が寄せられるものの、自治会への加入は拒否されている。法人に対して所管部署はどのように考えているのか。また、関係の改善に向けて指導してほしい。

【回答】長寿あんしん課

まずは、地域密着型施設のグループホーム等各施設の運営推進会議委員として、各自治会よりご協力をいただきありがとうございます。

自治会への加入につきましては、サービス付き高齢者向け住宅には、認知症等の介護を必要とされている様々な方が入居されておりますので、入居者自身による加入は、強制できませんので、事業者による自治会への加入を含め、自治会との連携・協力を考えてまいります。

③広報の配布方法について

市広報が、あるマンションにはいつも26日に届いているが、近隣の戸建て住宅には1日朝になっても届いていない。市に問い合わせても業者が配っているとの回答のみで、それ以上対応がない。公平性をうたっているのだから、月ごとに配布順序を変えるなど対応してほしい。

また、ワンルームマンションでは、投函された広報紙をそのまま玄関に設置された段ボール等に捨てている状態が見受けられる。全戸配布は配送費がもったいないと思うが、市はどのように考えているのか。

【回答】秘書広報課

広報の配布につきましては、業者に委託し全戸配布を行っております。毎月27日頃から1日までに配布を依頼しております。概ね月末までに各家庭に配布しております。5日間で約3万9千世帯に配布いたしますので、短い期間に効率良く配布するように努めているところです。毎月配布順序を変更することは配布の煩雑化や遅れに繋がるのが想定されるため、現在の配布方法を継続してまいります。

また、広報紙は市民の皆様へ目にして頂きたい情報であり、すべての市民が情報を取得できる状態が望ましいと考えられるため、全世帯に配布する全戸配布を行っているところであります。

多くの市民の皆様にご覧頂けるよう、広報紙作りに努めてまいりますのでご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



④通学路の安全対策について

司法研修所前にガソリンスタンドがあり、拡張工事が予定されている。

セルフ対応のスタンドになるとのことなので、車の出入りの量が激しくなると思われる。第五小学校児童、第三中学校生徒の通学路となっているが、出入りの際の交通安全対策について、どのように考えているのか。

【回答】学校教育課

司法研修所前にあるガソリンスタンドの拡張工事に伴う通学路の安全対策につきましては、今年2月に工事の説明会が実施されており、説明会には、地域の方々とともに第五小学校教頭が出席しました。ガソリンスタンド付近の登下校時の危険について、児童に注意を促すよう指導を行ってきています。また、第三中学校でも、この工事予定の連絡を受けて、3学期末に生徒に交通安全等の指導を実施しています。しかしながら、平成26年3月20日現在、拡張工事は始まっておらず、現地は幅の広い歩道があり、比較の見通しも利く場所です。

今後工事が開始された場合、付近の歩道等の通行に危険が伴うようであれば、各学校で通学路変更の検討を行い、より安全な道路を通行する。・登下校時に、教職員やPTA、交通指導員等の協力を得て、立哨指導を実施する。・ガソリンスタンドの事業主にも、児童生徒の登下校時等に安全を見守るため、人を立ててもらおうよう依頼する。等の対策を検討する予定です。

児童生徒の安全を見守れるよう、今後も引き続き、通学路の安全対策を進めてまいります。

◆防災対策について

①戸口消火器を自治会として整備したいが、設置に係る市の補助金の活用についてどうしたらよいか。

【回答】危機管理室

和光市の戸口消火器の設置制度についてお答えいたします。

当市には和光市自主防災組織活動事業補助金制度があり、自主防災組織（自治会）の防災資機材整備事業を対象に、30万円を限度額に事業経費の4分の3の補助を行っており、戸口消火器の設置についてもその対象となります。

また、和光市自主防災組織活動事業補助金制度とは別に、戸口消火器設置については、自治会規模で30世帯に1基を基準に市で設置事業を行っております。つきましては、一度危機管理室防災担当とご相談いただければ、具体的なお話が出来ますのでご連絡いただきますようお願い申し上げます。

自治会活動報告

シーアイハイツ和光自治会の活動

会長 雨宮 寛

シーアイハイツ和光は昭和59年(1984年)に完成した団地で、今年で満30年を迎えました。当自治会はここに居住する約1,600世帯の会員により、生活環境の向上、共通の利益、相互の親睦並びに福祉の増進を図る活動に取り組んできております。

直近の取り組みとしては、7月26日に恒例の夏祭りを開催しました。自治会の役員のみならず、多くの住民ボランティアに参加頂いて運営する手作りの行事ですが、今年は天候にも恵まれ、シーアイハイツの住民はもちろんのこと、近隣の皆様にもさまざまなパフォーマンスや模擬店を楽しんで頂けたことと思います。このようなイベントとしては、秋に「シーアイ文化展」、暮れには「もちつき大会」を開催する他、10月の市民体育祭にも自治会として参加しています。

当団地の住民の多くは、新築時に居を構えて以降、そのまま住み続けている方たちで、住民の高齢化も進んできています。そこで、当自治会としても今後の高齢化の進行を考えると、住民相互の共助の体制作りが重要であると考え、福祉厚生活動に力を入れています。具体的には、70歳以上の住民を対象に、お互いの親睦を深めて頂く集いを春と秋に開催しています。また、高齢者から子育て世代まで、幅広い世代の交流の促進を目的とした「交流サロン」を毎月開催しています。一方で、青少年の育成については、「地域青少年を育てる会」の活動を中心とした取り組みを積極的に支援しています。

生活環境面での取り組みについては、クリーン・オブ・和光に参加したごみゼロ運動、防犯委員会を中心とした各種防犯活動、当団地管理組合とともに開催する「消防・防災訓練」などを行っているほか、今年6月に第三小学校で行われた和光市の地域防災訓練に代表者が参加し、その経験を自治会常任委員会で共有しました。

この他にも、歳末助け合いなどの募金活動(年3回)や、住民で組織している各種同好会活動の支援などの活動を行っています。

当自治会と致しましては、今後も自治会規約第1条に掲げた「地域社会と協力して、住み良い町づくりを進めていく」ことを基本的な考え方として自治会活動を進め、皆様との絆をより深いものとして参りたいと存じますので、これからもどうぞよろしくお願い致します。



春の集い
平成26年6月7日開催



夏祭り
平成26年7月26日開催

防犯パトロール報告 (26.4.20実施分)

地区別参加人数

	参加自治会数	参加人数
新倉南地区	5	26
新倉北地区	11	69
下新倉地区	9	37
白子南地区	14	92
白子北地区	12	55
合計	51	279

市長以下市関係5 警察官13



つつじ祭り(熊野神社境内)



4月27日、つつじ祭りが開催されました。

近隣自治会が模擬店出店等協力しました。



編集後記

「自治連わこう」は創刊して早7年が経過し、その間多くの市民の協力を得て内容も一段と充実し、今や和光市民にとって貴重な情報源の一つに加えていただいているものと考えます。申すまでもなく「自治連わこう」の発行目的は、多くの市民が「自治連わこう」を通して地域自治会の存在意義と活動内容について広く理解して頂くことにあります。

その意味からしますと、今年度より自治連に加わりました1,600所帯の会員を擁するシーアイハイツ和光自治会員を始め他の自治会にも新規入会者が見込まれますことから編集委員一同決意を新たにしております。

具体的には、自治会既加入者はもとより今日現在未加入の多くの和光市民もいずれは各地域の自治会に入会してくれることを期待し、内容的にもさらに充実した会報の提供を念頭に編集委員一同引き続き会報の作成に努める所存です。

多くの和光市民の方々に対しましては、今後とも「自治連わこう」に対する関心とご協力を期待する次第です。

編集委員長 中村 幸夫(越後山自治会)